

# 三河商人道

PART  
184

(有)ダスキン西尾

代表取締役 山崎 明 君

## 青年部とは 多様性



### 【会社・仕事への思い】

会社はお父上が創業。西尾市出身だったこともありダスキン西尾としました。岡崎にあるダスキンとしては2番目に古いそうです。今年創業50周年を迎え、社員、パートの方も含め記念のバスツアーに行かれました。従業員さんは女性が中心。『お客様に女性が多いので、サービスする側も女性を活用しています。女性の働く力は本当にすごい』と実感しているそうです。

学生時代に家業を継ごうと決めていました。就職は株式会社ダスキンの本社へ。名古屋と岡山で5年間を過ごされました。当時はバブルの真っ盛りで大きな仕事をどんどんしていたそうです。

最近あまり現場には出なくなりましたが、昔からのお客様にはやはり自ら出向くこともあるそうです。インタビューを行った会議室の壁には、商品知識をまとめた資料(社外秘です)がいくつも貼られていました。『従業員みんなに勉強してもらうことで会社が伸びる。また従業員の満足度を上げることも同時に重要である。今は岡崎で2番手だが地域1番を目指すのが現在の目標』と語っておられました。

### 【青年部に入会されたきっかけ】

最初はお客さんの薦めで青年会議所(JC)に入っていたのだとか。JCと商工会議所青年部と社業を同時にやることはたいへんだと思ったので、JCを卒業した年に自分の意志で青年部に入会したそうです。

### 【思い出に残る青年部活動】

入会してまもなくの振興委員会は楽しかったとのこと。夏祭りを担当されお神輿を作りました。やはりみんなで協力して一つのことを達成することは楽しかったそうです。

平成25年度にはまちづくり副委員長を務められ、岡崎 YEG メンバーの国・県・市の議員さんに岡崎のまちづくりを語ってもらう例会などを運営されました。委員長の吉田康一郎さん(トーヨー建設株)に『副委員長は理事会に出なくてもよいのですね』と念を押して受けたのに、実は理事会に出ないといけなかった。騙されてしまった。』と笑っておられました。委員会活動はうまくいったと思うがメンバーに助けてもらったおかげだと語っていらっしゃいました。

### 【趣味など】

趣味は旅行という山崎さん。日本では行ったことない県はないほどの旅行好きです。大学時代はサイクリングクラブに所属して自転車で全国を走り回りました。フェリーで北海道に渡ったり、テントを積んで東北地方を回ったりとても楽しい思い出だそうです。最近の旅行は行った事がない所へ積極的に当たっています。

### 【青年部とは・・・】

「色々な年代の人もあるし、色々な会社の人もある。その多様性こそが青年部。そういうところで刺激を受けて交流し、それぞれの社業が発展していけばいい。」とのこと。現役メンバーには『やらずに後悔するならやってみろ』と。やってみて合わなければやめればいいし、それをやっている人を非難もしない。それが青年部のよいところだ』とメッセージをいただきました。



取材担当/  
創生委員会  
内田浩史、久山博永  
加藤浩晃、小笠原弘樹、  
中根邦博、大久保政樹  
阿知和司、戸松政洋